

# Diamond Creek

ダイヤモンド クリーク

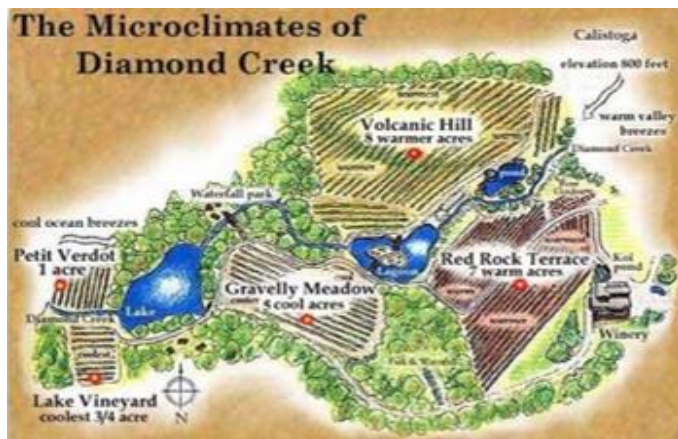
カルフォルニア・カベルネ・ソーヴィニヨンの最高峰



「ダイヤモンド・クリークは、カリフォルニアのカベルネ生産者トップ 10 はおろか、恐らくトップ 5 にも入るだろう。カリフォルニアワインが見せる個性豊かな魅力は、ダイヤモンド・クリーク抜きでは語れない。」と、ワイン・スペクテーター誌の副編集長ジェームス・ローブ氏に言わしめたカリフォルニア、ナパ・ヴァレーの溪谷地帯に広がるダイヤモンド・クリーク。そのワインは、現地ですえ手に入れることが困難と言われるカルトワインで、特定の年にしか作られないレイク・ヴィンヤードのワインは特に、オークションでは垂涎的とされています。今やコレクターの存在により、その価格高騰のみが唯一惜しまれますが、どこまでも長く続くフィニッシュは、飲み手を陶酔させてくれます。

1968年創業のダイヤモンド・クリークは、カリフォルニアで初めてカベルネ・ソーヴィニオンだけの単一栽培を始めたワイナリーです。医薬品卸売業で50代にしてロサンゼルスで成功を取めた創業者のアル・ブラウンシュタイン氏は、1967年に南カリフォルニアのナパ・ヴァレー、ダイヤモンド・マウンテン地区に70エーカーの土地を購入し、ボルドーの2つのブルミエ・クリュから購入したブドウの苗木を1968年にこの地に植樹しました。

土壌や日当たりの違いなどから、栽培区画を3か所に分け、地理的な特徴からそれぞれレッド・ロック・テラス(赤褐色の土壌を持つ北向き畑)、グラヴェリー・メド(砂利と砂土から成る平地畑)、ヴォルカニック・ヒル(白色の火山灰から成る丘の中腹に位置する南向き畑)と名付けました。1972ヴィンテージから続くこの3つのキュヴェと、特に優れたヴィンテージにのみリリースされるレイク・ヴィンヤードの特別キュヴェで、ダイヤモンド・クリークはカリフォルニアワインの新たな歴史の1ページを築いてきたと言っても過言ではありません。



創業者アル・ブラウンシュタインは、当時のナパ・ヴァレーのトレンドの10年先を行き、他者に先駆けてマイクロクリマの個性に着目したカルト的なカベルネ・ソーヴィニオンを生み出しました。毎年高価格ながらもすぐに売り切れとなってしまふカルトワインの中でも群を抜く人気は、ダイヤモンド・クリークの歴史的価値と品質の高さを証明しています。マイクロクリマの生み出すテロワールの違いを同一の品種で表現することでネゴシアンを嘲笑っていた1970年代当時を振り返り、アルの妻ブーツ・ブラウンシュタインは、亡き夫について次のように語りました。「アルほど前向きで楽観的な人には会ったことがないわ。病気で手が震えるようになってからも、ピンピンして畑に出ているの。分別をわきまえている人間は世界に従い、分別のない人間は世界を自分に従わせるというけれど、アルが成し遂げてきた業績は、正に分別のない人間の成せる業ね。」 **【写真:創業者アル・ブラウンシュタインと妻ブーツ・ブラウンシュタイン】**



ブーツ・ブラウンシュタインは2019年に逝去し、長年、夫妻と交流のあったシャンパーニュメゾンのルイ・ロデレル家が新オーナーとなり、今もなお、夫妻が築きあげてきたダイヤモンド・クリークのレガシーを守り続けています。

◀**マイクロクリマ:微気候**▶ 西海岸から吹き付ける冷涼な海風がナパ・ヴァレー東部の温暖な気候と融合することで多様な微気候が生まれ、火山性、砂利質、赤色岩石といった土壌の違いから3つの栽培エリアに分かれています。ワインはカベルネ主体でメルロ、カベルネ・フラン、プティ・ヴェルドを少量ブレンドしています。収穫には毎年1ヶ月程の期間を要し、各々の畑のブドウが最も良い熟成具合に達した頃を見計らい15~20の区画に分けて収穫します。バレル・テイastingでテロワールの特徴が顕著に反映された樽を選び抜き、マイクロクリマの個性を表現しています。

★**ワイン・アドヴォケート #219 2015年6月29日号より (著:ロバート・パーカー・Jr.)** ダイヤモンド・クリーク・ヴィンヤードは、ナパ・ヴァレーで歴史的に重要な役割を担ってきたワイナリーの1つであり、象徴的なアイコン・ブランドだ。ダイヤモンド・マウンテン高地で砂利質の土壌から作るグラヴェリー・メド、火山性土壌のレッド・ロック・テラス、鉄分を豊富に含んだ白色の火山性石灰華土壌から作るヴォルカニック・ヒル。テロワールの特性に基づいた3つのシングル・ヴィンヤード・ワインを他者に先駆けて作ってきたパイオニア的存在である。レッド・ロック・テラスが7エーカー、グラヴェリー・メドは僅か5エーカー程の面積であるのに対し、ヴォルカニック・ヒルは畑面積8エーカーで最も区画面積が広く、実に興味深い。ダイヤモンド・クリークのワインは、酒齢10年にして未だに若々しい味わいを湛えているにも関わらず、そのテイastingは非常に心躍るものであった。特に1974年、1975年、1976年、1978年のダイヤモンド・クリークの味わいは、カベルネをベースとするワインの中では、ナパ・ヴァレーだけではなく、世界で最も素晴らしく偉大なワインであると言える。伝説に残るワインと言うに相応しい作り手の真の努力の結晶として、永遠に私の記憶の中に刻まれるワインである。

★**ワイン・アドヴォケート 2022年9月16日号より (ジョー・ザウンスキー)**

「2018年、2019年とともに成功した年だが、より深みのある果実味、より贅沢な質感という点で、2019年にやや軍配があがる。」

■**2019年ヴィンテージ情報**▶ 2018年と同様、素晴らしい生育環境下でしたが、収量は予想を下回りました。雨の多い穏やかな春から長い夏を経て、ブドウはゆっくりと成熟していきました。フェノール類が少しずつ成熟していくのを辛抱強く待ちながら10月上旬に収穫を迎えました。醸造担当のグラハム・ウェメイヤーは、この年のワインを「クラシック・ヴィンテージ」と評し、凝縮感とピュアな果実味のバランスの良さを高く評価しています。◀**生産者提供情報**より▶

◆**醸造手法**◆ ブドウは丹念に選果し、2日間低温果漬、10-12日の果皮浸漬を行う。亜硫酸塩の使用量を少なく抑え、厳選されたフレンチオークで約20ヶ月熟成させ、力強い緊張感とフィネス、深みのある風味豊かな味わいを兼ね備えたワインに仕上げる。新樽は、Tonnellerie Remond社、Tonnellerie O社、Nadalie社、Boutes社、Ana社等の樽を使用。

担当: @millesimes.co.jp 株式会社ミレジム Tel.03-3233-3801 Fax.03-3295-5619

Millésimes

## 2019 Gravelly Meadow Cabernet Sauvignon

上代価格 ¥42,000(税別)

グラヴェリー メドゥー カベルネ ソーヴィニオン

JAN: 4543190703468

【辛口/赤】 品種:カベルネ・ソーヴィニオン 78%、メルロ 16%、プティ・ヴェルド 3%、マルベック 2%、カベルネ・フラン 1%

アルコール:14.5%前後 産地:カリフォルニア州ナパ・ヴァレー(ダイヤモンド・マウンテン AVA) 畑面積:2ha(レイク・ヴィンヤードの次に冷涼な微気候に恵まれた最も低収量の畑) 収穫:2019年11月9日 土壌:砂利と小石を多く含む水はけに優れた堆積土壌 醸造:フレンチオークで20ヶ月熟成

■生産者コメント■ グラヴェリー・メドゥーは、一般的にダイヤモンド・クリークのカベルネ・シリーズの中で一番最初にテイastingされるべきワインだ。赤系果実、カシス、ラベンダー、ローズマリーのアロマが香る。最初にブルーベリー、ブラックベリーのコンポートの豊かなアロマが感じられ、次第にリコリス、オレンジピール、掘り起こした大地の香りを帯びていき、カカオやミントのニュアンスと溶け合う。伸びのある酸と重厚感のある味わいが長い余韻をもたらす。

★パーカーポイント 96+点:モカやオークの樹皮のような香りとともにカシスとブラックベリーの大胆なアロマが美しく際立って感じられる。リッチなフルボディの味わいで、ベルベットのよう滑らかな質感があり、柔らかく細やかなタンニンが優雅に広がっていき、後味の長い余韻がどこまでも続く。《飲み頃:2025-2045年 | 2022/9/16 掲載》

他誌評価:★ワイン・スペクテーター93点 ★ジェームズ・サックリング99点



## 2019 Red Rock Terrace Cabernet Sauvignon

上代価格 ¥42,000(税別)

レッド ロック テラス カベルネ ソーヴィニオン

JAN: 4543190703475

【辛口/赤】 品種:カベルネ・ソーヴィニオン 75%、メルロ 16%、マルベック 4%、プティ・ヴェルド 4%、カベルネ・フラン 1%

アルコール:14.5%前後 産地:カリフォルニア州ナパ・ヴァレー(ダイヤモンド・マウンテン AVA) 畑面積:2.8ha(暖かな微気候に恵まれた北向きの畑) 収穫:2019年10月14日~10月31日 土壌:鉄分を多く含む赤褐色の土壌 醸造:フレンチオークで20ヶ月熟成

■生産者コメント■ レッド・ロック・テラスは、一般的にダイヤモンド・クリークのカベルネ・シリーズの中で二番目にテイastingされるべきワイン。レッドチェリー、スプラウス(マツ科の針葉樹)、エスプレッソ豆のアロマがグラスから香り立つ。繊細かつ生き生きとした味わいで、ラズベリー、カシス、プラムのアロマが最高潮に達し、黒鉛、ミネラル、ヒマラヤスギ、タブナード、メントールのニュアンスを帯びていく。堅固でありながら洗練されたタンニンと豊かな風味が長い余韻を生む。

★パーカーポイント 96+点:より熟した果実のアロマを持つ、カリフォルニアらしさを感じさせるワインで、ブラックチェリー、カシスのアロマにヴァニラのニュアンスが溶け合い、浮き立つように香る。ミディアム~フルボディで、グラヴェリー・メドゥーよりも少しタンニンが強く、豊かな凝縮感を湛えた味わい。ベルベットのよう滑らかなタンニンに縁取られた長い後味が印象的。

《飲み頃:2025-2040年 | 2022/9/16 掲載》

他誌評価:★ワイン・スペクテーター94点 ★ジェームズ・サックリング98点



## 2019 Volcanic Hill Cabernet Sauvignon

上代価格 ¥42,000(税別)

ヴォルカニック ヒル カベルネ ソーヴィニオン

JAN: 4543190703482

【辛口/赤】 品種:カベルネ・ソーヴィニオン 76%、メルロ 14%、マルベック 7%、プティ・ヴェルド 3% アルコール:14.5%前後

産地:カリフォルニア州ナパ・ヴァレー(ダイヤモンド・マウンテン AVA) 畑面積:3.2ha(最も暖かい微気候を持つ丘の中腹の南向きの畑) 収穫:2019年10月8日~11月9日 土壌:800万年前のコンクティ山噴火で降り積もった灰色火山灰から成る 醸造:フレンチオークで20ヶ月熟成

■生産者コメント■ ヴォルカニック・ヒルは、一般的にダイヤモンド・クリークの3つのカベルネ・シリーズの中で最後にテイastingされるべきワインと言える。ダークフルーツや紅茶、リコリス、土を思わせる深みのあるアロマが香る。カシス、ザクロ、カカオ、ブラックベリーブリオッシュなどのダークフルーツの香りがブラッドオレンジ、ヒマラヤスギ、コーヒーのニュアンスと溶け合い、口中を包み込むようなテクスチャーが広がる。魅力的なタンニンと長い余韻が特徴。

★パーカーポイント 99点:ダイヤモンド・クリークを訪れた際に最も感銘を受けたのは、見事なピュアさと長い余韻を兼備した2019ヴォルカニック・ヒル・カベルネ・ソーヴィニオンであった。ブラックベリー、カシス、プラムのアロマにヴァニラのニュアンスがアクセントを添えている。カベルネの果実味を湛えたリッチでベルベットのよう滑らかな質感を伴うミディアムボディの味わいが、とてつもなく長い余韻をもたらす。数年寝かせれば、ニュアンスを増していき、20年以上は美味しく味わえるだろう。

《飲み頃:2025-2045年 | 2022/9/16 掲載》

他誌評価:★ワイン・スペクテーター95点 ★ジェームズ・サックリング96点

